幸手傾聴ボランティア・ピース　定例会レジメ

2023年1月度　定例会

日　時　　1月16日（月）
会　場　　ウェルス幸手（機能回復訓練室）
司　会　　S

1. 定例会
   1）連絡事項・活動報告
   2）新年のお茶会とおしゃべり会
2. 今後の予定
   1）　2／20（月）13：30 健康増進課による出前講座（第1会議室）
   2）　3／20（月）13：30 令和5年度の月別活動計画作成
   3）　4／17（月）13：30 第17回通常総会
3. お知らせ
   1）　社協との推進会議　1／30
   2）　新入会員紹介
   3）　ゲートキーパー講習会について・・・健康増進課
   4）　令和5年度役員について

◎12月度議事録
   1）　12月度定例会参加者　12名
   2）　T先生3回目の養成講座　受講者数16名
   高倉先生は、今回の講習会において、ロールプレイを自ら聞き役になりみんなに見本を示していただいた。

※今月のことば　「自分にとって傾聴ボランティアとは」より
◎活動中、最も印象深かったことについて

80代、女性宅です。お伺いするようになって半年ほどたった頃でしょうか、引き出しの奥からハンカチでしっかりと包まれた厚さ2センチ位の四角い包みを取り出されました。そっと開いた包みには、たくさんのお手紙がありました。女学生だった頃、中学校の男子生徒から頂いたものだそうです。戦時中のこと、若い女性が人前で男の方と話すことなど、ままならなかった時代でした。それでも心を寄せ合って過ごされていたある日、学徒出陣の知らせが、男性のもとに届いたそうです。泣くこともできず、そっと見送ることしかできなかったとのこと。便りもだんだん間遠になり、そのうち届くこともなくなった。無事を祈ることしかできなかった辛い日々に悲しい知らせが届いたそうです。

戦後、ご縁があって今のご主人と結婚。二人のお子様にも恵まれ、幸せな生活を送られてきたそうです。ご主人はとても優しい方で、奥様が趣味の山登りに出かける際には、朝早くに起きて、おむすびを作ってくださり、「気を付けて楽しんでいってらっしゃい」と送り出してくださる方だったそうです。「主人には感謝こそすれ、何の不満もないのよ」とおっしゃりながら、色あせたハンカチを再びしっかりと結びなおし、少しはにかんだようなお顔で、その包みをそっと引き出しの奥に戻されました。「娘にも話したことがないのに・・・」。人生の最終期を迎え、熱い思いを秘めながら過ごされた青春の日々を、やっぱり誰かに知って欲しかったのでしょうか。その相手に、私を選んでくださったことに、ただただ感謝の思いです。